

温泉学会2009年春季大会プログラム

於:温泉津温泉

大会テーマ「世界遺産と温泉」

2009年3月1日～3日

[会 場]

3月2日 温泉津町コミュニティセンター

3月3日 石見銀山世界遺産センター

開催にあたって

実行委員会委員長・温泉学会副会長

大 川 哲 次

第1. (温泉学会設立の趣旨)

温泉学会は、2003年9月、今は亡き保田芳昭初代会長が中心となって、温泉を愛好する市民、温泉に関心のある人文・社会・自然科学の各分野の研究者、温泉の経営にかかわる業者や行政の関係者、その他の温泉研究者、作家、ジャーナリスト等の、いろいろな分野の方たちを会員とする、今までにない新しいタイプの市民に開かれた学会として設立されたものです。

その設立の趣旨も、温泉を愛好する者の立場から、温泉に対する安全性や表示制度の問題点、温泉に関する正確な現状確認を深め、温泉愛好者の健康や温泉ライフなどの有益な情報提供に取り組むこととされ、まさに温泉を愛する市民のための学会と言えるものです。

第2. (温泉学会の今までの活動について)

温泉学会は、2003年9月に開催された設立総会及び第1回全国大会よりちょうど5年半を数え、その間、毎年春と秋の年2回全国各地の温泉地において開かれる全国大会や春季・秋季大会において、その時々々の種々のテーマについての活発な議論を行って、より良き温泉の提供という側面からいろいろな提言を行い、大きな成果を上げてきました。

第3. (今回の温泉津大会の実施について)

1. 今回の温泉津大会は、2007年7月島根県の「石見銀山遺跡とその文化的景観」が国内で14件目の世界遺産に登録され、産業遺産としては国内初となる石見銀山とその近くの温泉津温泉において今年3月2日と3日の2日間にわたって開催されます。直前に登録延期を勧告されたものが、無事世界遺産に登録された理由は、①17世紀ころの世界の交易活動と結びつき、東西文化の交流を促進させたこと、②高品質の銀生産を可能にした優れた技術を有していたこと、③鉱山跡や搬出ルートなどの産業形態及び豊かな自然環境が損なわれずに残されていたことによると聞き及んでおります。

特に3つ目の「豊かな自然環境が損なわれず」という点が環境問題に厳しい最近の国際的風潮に合致し、高く評価されて大逆転につながったようです。一般的に鉱山には自然破壊のイメージがつきまといいますが、石見銀山の場合、銀精錬に必要な森林の伐採と再生が見事に調和し、緑豊かな自然環境がそのまま残されていると言えます。

2. 温泉が湧く港である温泉津は、石見銀山の外港、北前船の寄港地として栄えてきた港町で、その各所には当時の面影が多く残っております。温泉津には、約1300年の歴史を持つ「元湯」があり、古くから「温泉が湧く津(港)」として知られ、石見銀山が開発された16世紀以降、温泉津港は銀の積み出しや銀山に必要な生産や生活に関する物資の水揚げ港として重要な役割を果たしてきました。銀の産出が減ってきてからも、西廻り航路の北前船の寄港地として賑わってきました。

3. 今回の温泉津大会のテーマは「世界遺産と温泉」という今回の開催場所と今の時期に合った適切なテーマであり、世界遺産にとっての温泉の意義を文化・歴史と環境の両面からクローズアップすることを目指しております。その他に温泉利用者には身近な問題である「入湯税」等についても掘り下げてみたいと考えております。

今回の大会では、より身近で興味深い問題をより身近な市民としての視点から温泉の諸問題を取り上げ、温泉学会の原点である温泉を愛好する多くの市民にとって、自然の恵みである温泉の楽しみを十分に享受できるように深く願うものであります。

以上

温泉学会2009年春季大会プログラム

2009年3月1日(日曜)

- 14:00—16:30 理事会
16:30—17:30 秋の全国大会実行委員会 (第1回)
19:00—20:45 理事等懇親会

[会場 のがわや]

※理事会にご出席される理事の方の宿につきましては、朝日旅行会様あて各自お申し込み願います。

大会テーマ：「世界遺産と温泉」

2009年3月2日(月曜)

[会場 温泉津町コミュニテイセンター 大ホール ☎0855-65-3696]

- 13:30～ 受付開始
14:00～14:10 大会挨拶 温泉学会 会長 竹下 賢
14:10～14:30 歓迎挨拶 島根県大田市 竹腰 市長
14:30～16:20 特別セッション 「今、入湯税を考える」
竹下 賢 (関西大学法科大学院教授/温泉学会会長)
池田敏男 (関西大学名誉教授/温泉学会理事)
平野富雄 (源泉湯宿を守る会会長/温泉学会副会長)
16:20～17:00 自由論題
20:00～21:00 会員等懇親会

[会場 「路庵」] 会費1人1000円程度 (当日、受付にて集金させていただきます)

2009年3月3日(火曜)

[会場 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183]

- 9:00～10:00 基調講演 「石見銀山と温泉津」 小林 准士 (島根大学法文学部 准教授)
10:15～11:45 シンポジウム 「世界遺産と温泉」
コーディネーター 松田 十泊 (旅行ペンクラブ)
パネリスト 小林 准士 (島根大学法文学部 准教授)
内藤 淳彦 (石見地区ユネスコ協会会長)
中田 健一 (世界遺産センター 主任)
菊池 博子 (湯の峰温泉あづまや 女将)
11:50～ 閉会の挨拶 春季大会実行委員長 大川哲次

13:00～ エキスカーション

○石見銀山めぐり 所要時間 約3時間

※参加者は、各自事前に食事を済ませておいて下さい。

※昼食（お弁当）は、出欠葉書にてお申込み願います（大会初日、受付にて代金徴収）

実行委員会

| | |
|------|----------------------------|
| 委員長 | 大川 哲次（副会長） |
| 委員 | 竹下 賢（会長） |
| | 平野 富雄（副会長） |
| | 百瀬 孝仁（副会長） |
| | 茶山 健二（事務局長） |
| | 佐藤 好億（顧問・科学委員長） |
| | 藤田 勝利（理事・法制委員長） |
| | 松田 十泊（理事・編集委員長） |
| | 勝山 靖（理事・実行委員会事務局担当） |
| | 木原 康又（理事・IT担当） |
| | 山本 忠志（会員・実行委員会事務局担当／朝日旅行会） |
| | 大塚 良子（会員・会計担当） |
| | 竹村 和花（会員・IT担当） |
| （現地） | 三谷 仁美（会員・島根大学 講師） |
| | 内藤 陽子（会員・現地責任者－薬師湯 女将） |
| | 田原 博（現地・大田市観光協会事務局長）←OKです |
| | 中田 健一（現地・世界遺産センター主任） |

（敬称略）